

2019年度(平成31年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(25)番 福山市立 大津野小学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する21世紀型“スキル&倫理観”	課題発見・解決力	思考力・判断力・表現力	主体性・積極性	共感力
めざす子ども像(21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた児童生徒の姿)	疑問に思ったことから課題を設定し、生活体験や既習事項、収集した事項を根拠にして解決し、新たな課題を見つけている。	生活体験や既習事項から適切な理由や根拠をもとに、自分の考えを持ち、目的や意図に応じて、積極的に説明していたり、適切な方法を選択したりして表現している。	集団の中で、相手や場の状況に応じて、自分でより高い目標を持ち、自分から行動している。	相手を思いやることの大切さに気付き、相手の立場を尊重し、行動している。

2 授業の現状

- 単元の導入で、学びの必然性や課題意識を持って取り組む児童が増えた。
- △協働の学びの中で、考えを深め合うことが十分ではない。
- △児童が単元の終わりまで、主体的に学び続けることに課題がある。

転換

3 めざす授業の姿

- 児童が関わり合い、認め合い、主体的に学び続ける授業
- ・児童が関わり合いの中で互いに学び合い、認め合いながら考えを深める授業
- ・自ら課題を発見し、学びに連続性のある授業

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
<ul style="list-style-type: none"> ・協働の学びを通して、自分の考えが広がったり深まったりしたことをふり返りで「誰のどんな考えで～が分かった。」のように具体的に書き、学びを自覚させる。 ・国語科の説明文・物語において、主体的な学びを充実させるための取組シートを学期に1単元ずつ作成し、成果と課題を次の単元に生かす。 					

5 取組の結果等

数値は2018年(H30年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%) 〈児童生徒質問紙調査〉(%) (肯定的評価)

	A問題	B問題	自分にはよいところがある	84.6
国語	75(+2)	56(-3)	先生はよいところを認めてくれる	92.3
算数(数学)	66(±0)	59(+5)	将来の夢や目標を持っている	90.4
理科	64(+1)		人の役に立つ人間になりたい	98.1

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査 〈児童生徒質問紙調査〉(%) (肯定的評価)

学校へ行くのは楽しい	86
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしている	74
授業では、課題について、「なぜだろう」「やってみたい」と思う	66
授業では、友だちと話し合うなどし、考えを深めたり広げたりしている	60

暴力行為発生率・不登校児童出現率 (%) (3)月末現在

暴力行為	0	不登校	1.2
------	---	-----	-----

体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査から】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) /48	握力と50m走、20mシャトルランで、男子が13/18種目、女子は8/18種目課題があった。		
(女子) /48			
目標値	男子「握力」「50m走」「20mシャトルラン」の県平均値かつ全国平均値以上の児童の割合を40%以上、女子を60%以上にする。		

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)

質問項目	当てはまる	当てはまらない
仕事にやりがいを感じている	12.5	62.5
仕事に充実感がある	6.3	50.0

児童生徒アンケート(%) (3)月実施

質問項目	当てはまる	当てはまらない
授業で考えることが面白い	53	35
自分の考えは、認められている	48	39